

医療情報学部 医療情報学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

■医療情報学部医療情報学科診療情報管理専攻

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために、高等学校等での学びや諸活動、資格・検定試験等で得た基礎学力、基礎知識、語学力、読解力、論理的思考力及び主体的に学ぶ意欲等を身に付け、本学の診療情報管理専攻に興味・関心を持った学生を求めています。

また、本学入学後の学びや諸活動を通して、次のような能力を身に付けられる学生を求めています。

- 生涯にわたり最新の医学・診療情報、医療情報処理、食と健康と情報、生命維持管理を学び社会に還元できる人
- 専門的医学知識や医療情報システムを基盤として情報処理技術を活用して、診療情報や医療情報管理・運営ができる人
- 食に関する専門的知識、健康情報を管理・分析ができヘルスリテラシーを推進できる人
- 人間についての幅広い専門知識を用いて、対象者が持つ背景や価値観の多様性を理解し、医療人としての自覚を持ちチームの一員として行動ができる人
- 異文化を理解し、国際感覚にすぐれた人
- 市民としての倫理観と自覚をもち、社会に貢献できる人
- 情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えることができる人
- 円滑なコミュニケーションをとることができ、他職種との連携・協働を行うことができる人
- 幅広い医療分野に直面する問題を見出し、解決するために医療現場における実践的知識および医療資源を活用し、主体的に問題を解決することができる人
- 医療人として人命の尊厳と人格を尊重し、自己洞察ができる人
- 物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考力を備えることができる人

大学入学までに身に付けて欲しいこと

大学では高等学校での学習を基盤として講義が展開されます。文章表現力とコミュニケーション力の基本となる国語、医学・医療の専門用語および ICT 技術を理解するための英語は基礎学力として重要です。情報も当学科の専門プログラムを受ける上で土台となる科目です。高等学校で学んだ範囲を確実に身に付けてください。

■医療情報学部医療情報学科臨床工学専攻

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために、高等学校等での学びや諸活動、資格・検定試験等で得た基礎学力、基礎知識、語学力、読解力、論理的思考力及び主体的に学ぶ意欲等を身に付け、本学の臨床工学専攻に興味・関心を持った学生を求めています。

また、本学入学後の学びや諸活動を通して、次のような能力を身に付けられる学生を求めています。

- 生涯にわたり最新の医学・診療情報、医療情報処理、食と健康と情報、生命維持管理を学び社会に還元できる人
- 専門的医学知識、高度かつ多様化する医療機器に対応できる基礎的知識を修得し、指導的立場となる臨床工学技術を駆使できる人
- 人間についての幅広い専門知識を用いて、対象者が持つ背景や価値観の多様性を理解し、医療人としての自覚を持ちチームの一員として行動ができる人
- 異文化を理解し、国際感覚にすぐれた人
- 市民としての倫理観と自覚をもち、社会に貢献できる人
- 情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えることができる人
- 円滑なコミュニケーションをとることができ、他職種との連携・協働を行うことができる人
- 幅広い医療分野に直面する問題を見出し、解決するために医療現場における実践的知識および医療資源を活用し、主体的に問題を解決することができる人
- 医療人として人命の尊厳と人格を尊重し、自己洞察ができる人
- 物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考力を備えることができる人

大学入学までに身に付けて欲しいこと

臨床工学専攻では4年間を通して多くの科目が必修として設定されています。課された講義や実習に真摯に取り組むために必要となる健康な身体を育ててください。また専門的な科目の内容を理解するためにはしっかりした国語力、また入学後必要な英語については高校レベルの力はしっかりと身に付けていることが大切です。また1年生から専門的な科目も始まりますので高等学校の数学Ⅰレベルの数学についても身に付けてください。

入学者選抜方針（全学部・全学科・全専攻共通） 別紙参照

入学者選抜方針（全学部・全学科・全専攻共通）

●推薦入学試験 1 期・2 期(公募制・指定校制)

公募制

高等学校での活動において優れた点を持ちかつ大学教育を受ける能力があると学校長が認めた学生に対し、書類審査、小論文試験、面接試験を行います。書類審査、小論文試験、面接試験を総合的に評価し、選抜します。

- ・書類審査(調査書) (学習や活動報告、リーダーシップ、資格取得等)
「知識・技能」、「思考力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を評価
- ・小論文(課題に対する理解力、論理的思考力、文章表現力等)
「知識・技能」、「思考力・表現力」を評価
- ・面接(コミュニケーション能力や主体的に学ぶ意欲、積極性等)
「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を評価

指定校制

高等学校との信頼関係に基づき、高校生活の中で学力、人物ともに優れておりかつ大学教育を受ける能力があると学校長が特に責任を持って推薦する学生について、書類審査(調査書の他、推薦書、志望理由書等を参考)により選抜します。

- ・書類審査(調査書の他、推薦書、志望理由書等を参考)
「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を評価

●AO入学試験

学力選抜とは異なり、エントリーシートや面接、適性テストにより、専門への適性、熱意、関心等を多面的に評価し、多様な能力と意欲にあふれる学生を求めます。エントリーシート、面接、適性テストを総合的に評価し、選抜します。

- ・エントリーシート(テーマに即して明確かつ具体的に表現等)
「知識・技能」、「思考力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を評価
- ・面接(コミュニケーション能力や主体的に学ぶ意欲、積極性等)
「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を評価
- ・適性テスト(論理的思考能力、基礎的計算能力等)
「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価

●高大連携特別AO入学試験

高大連携校の学生に対して、高校時に本学の高大連携授業を受講した学生について、エントリーシートや面接、適性テストにより入学試験を実施しています。エントリーシート、面接、適性テストを総合的に評価し、選抜します。

- ・エントリーシート(テーマに即して明確かつ具体的に表現等(本学の高大連携授業についてを含む))
「知識・技能」、「思考力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を評価
- ・面接(コミュニケーション能力や主体的に学ぶ意欲、積極性等)
「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を評価
- ・適性テスト(論理的思考能力、基礎的計算能力等)
「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価

●特別AO入学試験

学力選抜とは異なり、書類審査や面接、適性テストにより、専門への適性、熱意、関心等を多面的に評価し、また高校時の成績も参考に多様な能力と意欲にあふれる学生を選抜します。書類審査、面接、適性テスト及び調査書を参考に、総合的に評価し、選抜します。

- ・書類審査（テーマに即して明確かつ具体的に表現等）
「知識・技能」、「思考力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を評価
- ・面接（コミュニケーション能力や主体的に学ぶ意欲、積極性等）
「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を評価
- ・適性テスト（論理的思考能力、基礎的計算能力等）
「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価

●一般入学試験(1期・2期)

本学独自の学力試験を実施し、基礎学力が身についているか、調査書の活動報告及び資格・検定試験等を参考に、総合的に評価し、選抜します。また、北海道以外の試験会場を設けており、道外でも受験できる体制をとっています。

- ・学力試験
「知識・技能」、「思考力・判断力」を評価
- ・調査書（活動報告及び資格・検定試験等）
「知識・技能」、「思考力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を評価

●大学入試センター試験利用入学試験(前期・中期・後期)

本学独自の学力試験は課さず、大学入試センター試験の得点により基礎学力が身についているか、調査書の活動報告及び資格・検定試験等を参考に、総合的に評価し、選抜します。

- ・大学入試センター試験の得点
「知識・技能」、「判断力」を評価
- ・調査書（活動報告及び資格・検定試験等）
「知識・技能」、「思考力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を評価

●編入学試験

本学へ編入学する目的意識や学ぶ意欲について、小論文試験及び面接試験を行います。小論文試験、面接試験を総合的に評価し、選抜します。

- ・小論文（課題に対する理解力、論理的思考力、文章表現力等）
「知識・技能」、「思考力・表現力」を評価
- ・面接（コミュニケーション能力や主体的に学ぶ意欲、積極性等）
「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を評価

●特別入学試験(外国人留学生・帰国生徒)

外国人留学生

国際交流が盛んになり、私費外国人留学生の志願者が多くなってきている今日、本学においても国際的に広く人材を求めることを目的とし、勉学意欲、目的意識がしっかりしている留学生に対し、日本語作文試験及び面接試験を行います。日本語作文、面接試験を総合的に評価し、選抜します。

- ・日本語作文（基本的な日本語能力、文章表現力等）

「知識・技能」、「思考力・表現力」を評価

- ・面接（修学に必要な日本語能力やコミュニケーション能力、本学で学ぶ意欲、積極性等）

「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を評価

帰国生徒

海外の様々な分野で日本人が活躍している中、外国の教育機関で正規の教育課程を修了し、貴重な異文化体験を活かし帰国してくる学生に対し、日本語作文試験及び面接試験を行います。日本語作文、面接試験を総合的に評価し、選抜します。

- ・日本語作文（課題に対する理解力、文章表現力等）

「知識・技能」、「思考力・表現力」を評価

- ・面接（コミュニケーション能力や本学で学ぶ意欲、積極性等）

「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を評価